

# 第32期決算公告

東京都港区芝4丁目6-6  
株式会社 長谷エナヴィエ  
代表取締役 中山 雅央

貸借対照表(2024年3月31日現在)

[単位：円]

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>[流動資産]</b>	<b>[1,332,912,679]</b>	<b>[流動負債]</b>	<b>[859,770,044]</b>
現金及び預金	670,589,169	買掛金	686,920,365
売掛金	625,355,238	未払金	34,923,345
貯蔵品	31,403,197	未払費用	75,905,016
前払費用	5,026,865	未払消費税等	6,002,700
立替金	538,210	未払法人税等	45,016,500
		預り金	3,492,118
		賞与引当金	7,510,000
<b>[固定資産]</b>	<b>[1,015,049,064]</b>	<b>[固定負債]</b>	<b>[688,140,678]</b>
(有形固定資産)	(918,729,370)	長期借入金	680,000,000
建物	47,273,499	役員株式給付引当金	5,181,481
建物附属設備	37,491,429	株式給付引当金	2,959,197
構築物	5,485,658		
機械装置	82,719,243	<b>負債合計</b>	<b>1,547,910,722</b>
工具	259	<b>純資産の部</b>	
器材(金属)	2,144,189	科目	金額(円)
備品	2,398,051	<b>株主資本</b>	<b>[800,051,021]</b>
土地	741,217,042	[資本金]	[100,000,000]
(無形固定資産)	(76,319,694)	[資本剰余金]	[20,210,117]
ソフトウェア	27,053,694	(資本準備金)	(10,210,117)
ソフトウェア仮勘定	49,266,000	(資本等減少差益)	(10,000,000)
(投資その他の資産)	(20,000,000)	[利益剰余金]	[679,840,904]
関連会社株式	20,000,000	(利益準備金)	(14,789,883)
		(繰越利益剰余金)	(665,051,021)
		[当期純利益]	[130,457,628]
		<b>純資産合計</b>	<b>800,051,021</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,347,961,743</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,347,961,743</b>

個別注記表

1、重要な会計方針

(1)資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については先入先出法、有価証券については移動平均法を採用

(2)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産については定率法を採用

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については税法を基準に定額法を採用。

無形固定資産については定額法を採用

(3)引当金の計上基準

賞与引当金・・・支給見込額を計上

役員株式給付引当金・・・役員に対する親会社株式の給付に備えるため、給付見込額のうち  
当事業年度に負担すべき額を計上

株式給付引当金・・・従業員に対する親会社株式の給付に備えるため、給付見込額のうち  
当事業年度に負担すべき額を計上

(4)収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点は以下のとおりである。

(リース事業)

建設仮設資材を顧客に貸し付けることを履行義務としている。時の経過に基づき、履行義務が充足されると判断しており、契約期間にわたって収益認識をしている。対価については月締めで概ね1ヶ月以内に受領している。

(搬送事業)

顧客の指示に基づき、搬送のサービスを提供することを履行義務としている。業務の完了に基づいて履行義務が充足されると判断しており、対価については、業務量に応じて、月締めで収益として認識している。対価については、履行義務の充足時点から概ね1ヶ月以内に受領している。

(5)その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しております。